

関西シニア会 会報

発行人 中村省二 海旅業界関西シニア会

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 ダイナース ワールド トラベル 日本駐在事務所内

1998年5月9号

第9回 海旅業界関西シニア会 総会開催される

ご挨拶

会長

中村省二



インフルエンザの猛威で迎えた1998年。官僚の腐敗と少年犯罪の記事が目につく新聞紙上。あまり心身の衛生上思わしくない事の多い今日この頃です。しかしその反面、冬季オリンピック及びパラリンピックでは若人たちが目標に向かって挑戦し記録を更新していく姿に感動を憶えた2月・3月でもありました。

さて、屋外活動の楽しい季節となって参りました。各幹事に腕を振って企画していただいた Hiking、Golf、旅行、音楽会。現役・OBを問わず日程をご検討の上、ご家族共々、ご健康のため、またご交流の場としては是非、一度ならず二度・三度と多数のご参加をいただき楽しい一日をお過ごしください。

末筆になりましたが、本年も会員各位のご健闘と当 K・K・シニア会のご支援を宜しくお願い申し上げます。

総会のご報告

去る2月6日(金)午後6時より、ホテル・グランヴィア大阪20階、鶴寿の間に於いて、第9回の総会が開催されました。当日は40名の出席が予定されて居りましたが、39名の出席者と、55通の委任状をもって開催となり、高山嘉明氏の司会で、中村会長の開会の挨拶に始まり、全ての議案は、出席者全員の賛同を得て、午後7時10分無事終了しました。

引続いて会場を鳳凰の間に移し、懇親会に入り泉完一郎氏の乾杯の音頭で始まり、一同はバイキング料理を賞味しながら歓談、宴たけなわの中で、抽選会が始まり過半数の方が賞品を得て、午後8時40分過ぎ散会となりました。総会での報告は次頁の通りとなりましたので、お知らせ致します。

総会報告

1) 平成10年度お世話役交替

会長 中村省二

平成8年度より2年間、副会長として会の運営に多大のご協力を頂きました田村次郎氏は今回任期満了と共に、ご退任されることとなりました。在任中のご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。後任には、前副会長を務められた藤岡好子氏に再度ご出馬を頂きたくお願い致しましたところ、快くお引き受け戴ける事となりましたのでお知らせ致します。またゴルフ部を担当の早瀬久義氏は、平成8年度牧野宏氏転任の後を引き継ぎ、以来、ゴルフ部担当幹事として部運営に多大な熱意を示され、恒例の年2回のコンペの他に研修会を新たに企画実施しゴルフ部の発展に尽力戴きました。この度ご自身のお仕事が多忙となりやむなく退任される事となりました。在任中のご支援に対し厚く御礼申し上げます。後任には、寺西徹氏（元日通航空）が快く、引き受けて下さいました。コンペ等では、幹事1人では、到底出来ませんので、出場メンバーでご協力の程よろしくお願ひします。

平成10年度 お世話役

会 長	中村省二氏	経 理 部 長	雌 次郎氏
副 会 長	福井安司氏（監査役兼務）	旅 行 部 長	石原友雄氏
副 会 長	藤岡好子氏	音 楽 部 長 兼 ウオーキング部長	高山嘉明氏
顧 問	榊 重信氏（相談役）	ゴ ル フ 部 長	寺 西 徹氏
事 務 局 長	辻村 脩氏		

2) 平成9年度の概況と平成10年度予定

事務局 辻村 脩

数年前のバブル崩壊以後、金融機関の不良債権問題に端を発した金融不安は政財界を含め一般庶民に迄および、不況の嵐となって日本全国を襲って来ました。各企業は人員の削減に迫られ、繰上げ定年や関連企業・関連子会社への出向や移籍など、好むと好まざるとにかかわらず、行われているのが現状です。こう言った環境下では、現役のシニアクラスの方々も当然4～5日間も席を空ける事は出来なくて当然であり、海外旅行は中止せざるを得ませんでした。平成10年度も海外旅行は中止となる予定です。

*次に夏のビア・パーティはマイツアーの熊代社長のお世話で7月25日(金)18時よりサントリービル屋上のビア・ガーデンにて開催、23名のメンバーが参加し、盛り沢山の料理と飲み放題のビールで時の経つのも忘れ歓談、あっという間の2時間が過ぎ、サントリーワインをお土産に散会、それぞれに家路に、また2次会に行かれました。熊代社長のご厚意により有意義なパーティが出来ました事、紙面をお借りし御礼申し上げます。

*98年度も7月下旬に懇親ビア・パーティを実施しますので是非ご参加下さい。

各部会に付いては、それぞれ各幹事さんの部会報告となりますので省略させていただきます。

3) 決算報告と予算案

会計幹事 雌 次 郎

下記、決算報告書にもとづき各項目の説明が行われた後、引続いて平成10年度予算案に付き各項目毎に説明が行われた。

自 平成9年1月1日
至 平成9年12月31日

○決算報告書

平成10年1月27日

作成者 雌 次 郎

右記内容監査の結果、正確に会計処理が行われていることをご報告します。

平成10年1月29日

監査役 福 井 安 司

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	524,387	入 会 金	7,000
部会活動補助費	129,568	年 会 費	460,000
通 信 費	95,710	総会パーティ参加	449,000
印 刷 費	129,842	前 期 繰 越 金	329,332
消 耗 品 費	0	受 取 利 息	69
慶 弔 費	0		
雑 費	9,003		
計	888,510	計	1,245,401
次 期 繰 越 金	356,891		
合 計	1,245,401	合 計	1,245,401

○予算案(平成10年度)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
総会パーティ費	500,000	入 会 金	5,000
部会活動補助費 *	275,000	年 会 費	480,000
通 信 費	80,000	総会パーティ参加	420,000
印 刷 費	150,000	前 期 繰 越 金	356,891
消 耗 品 費	5,000	受 取 利 息	100
慶 弔 費	20,000		
雑 費	5,000		
計	1,035,000	計	1,261,991
次 期 繰 越 金	226,991		
合 計	1,261,991	合 計	1,261,991

*部会活動補助金内訳

1. ゴルフ部会	20名参加	年 2 回	= 40名×2,000 = 80,000
2. 旅行部会	30名参加	年 1 回	= 30名×2,000 = 60,000
3. 音楽部会	10名参加	年 2 回	= 20名×2,000 = 40,000
4. 夏期パーティ	40名参加	年 1 回	= 40名×1,000 = 40,000
5. トレッキング	30名参加	年 1 回	= 30名×1,000 = 30,000
6. 部会活動連絡費		5名×5,000	= 25,000
計			275,000

4) 監査報告

上記決算報告に関して福井監査役より監査結果は全て正確に処理されているとの発言があり、出席者全員で決算報告、予算案は承認されました。

各 部 会 報 告

音 楽 部

平成9年度音楽鑑賞会報告

幹事 高山嘉明

平成9年の音楽鑑賞会は6月から11月の間に8回企画しましたが、残念ながら企画案の提供から実施まで3か月～6か月の間隔があり、予定の取り難さやジャンルが広く応募がばらけ、1回しか実施が出来ませんでした。

実施の音楽会は：8月24日(日) 17時より 於フェスティバルホール

大阪フィルハーモニー 3大交響曲の夕べ

未完成、運命、新世界より

で参加 6会員、9名でした。

平成10年度音楽鑑賞会実施について

平成10年の前半(3月～6月)に3回企画をし総会通知と共に応募者を募りましたが、各回共に1～3名の申込者しかなく、やむなく全ての企画を中止しました。

今回の企画は軽いポップス調の曲を選びましたが、皆様の共感を得る事が出来ず選曲の難しさに悩んでおります。

次回、秋から冬にかけての企画は夏のビア・パーティのご案内状と同封を予定しております。秋に相応しい、しっとりとしたクラシックを選曲したいと考えておりますが、皆様のご希望を、お聞かせ頂ければ幸いです。

尚、会員ご自身の音楽発表会や、お仲間同士の音楽会等有れば是非お教え下さい。会員に広くP.R.したいと考えます。

ウオーキング・クラブ

平成9年度ウオーキング報告

幹事 高山嘉明

平成9年はウオーキング部の開設の年で5月～11月まで6回企画をして張切っておりましたが、それぞれの事情により(応募者がうっかり、他の行事と重なったりで)全て催行中止となりました。会としては成立しませんが、幹事1人のみ11月23日の六甲山全山縦走に参加し5回目の完走を果たしました。

平成10年度のウオーキングの予定

平10年度は皆様のご意見により、例え小人数であってもゼロにならない限り催行するつもりで、5回の企画をアンケートでお知らせしたところ、4回の企画に昨年の倍以上の応募がありましたので、全て嵐でもない限り催行の予定です。特に人数枠の制限が無い行事ですのでご友人をお誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

(催行予定)

5月10日(日) 六甲山と有馬温泉 6月14日(日) 鳥見山公園と長谷寺

9月20日(日) 二上山ウオーク 10月25日(日) 鞍馬から大原

11月8日(日) の六甲山縦走は現在のところ応募者ゼロですが、ご希望の方は7月31日(金)までに高山まで、ご連絡頂ければ8月1日にエントリー用紙を入手致します。

(注)今年は原則として会員の参加が2名以上であれば、催行するつもりです。

天候が催行日の前日の天気予報で降水確率30%以上の場合は中止とします。

ゴルフ部

平成9年度の実績と回顧

幹事 早瀬 久義

'97年の改革事項としてハンディ制定と競技規則設定及び優勝カップは取切のレプリカにする等。大会は春秋の年2回とし、それ以外研修会を随時3～5回行う。

第15回大会	3月27日(木)	高槻カントリー	参加者	20名		
	優勝	高橋謙治	2位	石川隆二	3位	雌 次郎
研 修 会	6月4日(木)	東条湖カントリー	参加者	12名		
研 修 会	7月23日(木)	けやきヒルカントリー	参加者	7名		
第16回大会	9月28日(日)	作洲武蔵カントリー	参加者	14名		
	優勝	石丸賛治	2位	中村省二	3位	青山 宏
グランドマンスリー	11月26日(木)	グランドオーク	参加者	10名		
	優勝	中村省二	2位	宮井健二	3位	小林邦夫

(なお同競技中に小林氏がホールインワンを達成されました)

平成10年度ゴルフ部会計画

幹事 寺 西 徹

シニア会の中でゴルフ部会が一番参加者も多く盛況の様ですが、更に多くの会員の方々が、健康増進の為に積極的に参加されます様、皆様方のご意見も取り入れながら、運営してゆきたいと考えております。

本年も例年の如く、正式なゴルフ部会の行事として、春秋2回の大会とそれ以外に任意の研修会を3回、都合年5回のゴルフコンペを開催したいと考えております。

予定としては、

第17回大会	4月10日(金)	三木セブンハンドレッド倶楽部 (完了)
研 修 会	6月中旬頃	未 定
研 修 会	9月初旬頃	〃
第18回大会	10月中旬頃	〃
研 修 会	11月下旬頃	〃

を考えておりますが、第17回大会以外は開催場所を決めておりません。

もし会員の中でご自分のメンバーコース又はご推薦いただけるコースが

ありましたら、是非ゴルフ部会幹事迄ご連絡下さい。とにかく、皆様方のご協力を得て楽しく、健康的な行事したいと思いますのでどうか宜しくお願い致します。



旅行部

平成9年度の行事報告と平成10年度の予定

幹事 石 原 友 雄

平成9年度は春に海外旅行でハワイ・秋には岡山湯の郷温泉を計画しましたが、ハワイは参加者が少なく中止となりました。一方、秋の湯の郷温泉は好天に恵まれた9月27～28日の1泊2日で実施、17名が参加されました。27日は、それぞれに仲間の車に分乗し現地の“湯の郷観光ホテル”に集合、入浴後17時より宴会スタート、ホテル心尽くしの料理にアルコールも加わり、和気藹々の雰囲気の中で、カラオケ大会が始まり、全員がマイクを握り日頃の訓練の成果を披露されました。翌28日ゴルフ部のメンバー14名は作洲武蔵カントリークラブでコンペに、また観光組3名は岡山農業公園で、それぞれに一日を楽しめました。尚、平成10年度は、会員の皆様より回答を頂いたアンケートにより希望の多かった飛騨高山を予定しております。ご協力ありがとうございました。なお実施時期は8月末頃を予定しています。

会員便り

ちかごろ思うこと



顧問 榎 重信

年を取る と人はいろいろ昔話や文句を言い自分のストレス解消をしたくなるものらしい。これを老化現象と言うらしいが、私自身も最近思うことを皆さんに披露しストレス解消をさせていただこう。

自由と責任

辞書によると、自由とは他から拘束、強制、支配を受けないこと (freedom) と記されているが、同時に法律の範囲内における随意の行為で、権利と義務を有することとも記されている。それにしても最近の青少年の行動、政官界の不正行為は自己中心的で、どうにも我慢ならない。我々日本人は戦争を境に自由を履き違え己の権利のみ主張し、他に対する義務を忘れ去り無責任の時代に突入したようだ。

このことで思い起こすのは、安保問題で学生運動が盛んな昭和40年頃、ハワイで日系2世の女性に「日本で修身を教えないからいけないのよ」と言われ、ハワイで「修身」と言う言葉を聞かされ驚いたことである。戦後、確かに我々は過去の軍国主義からの脱却と、自由を尊重する余り、親も先生も子供に正しい躰について教えず、ただ学習で他人より良い点を取るのみを強調した結果、自己中心の義務を教えない青年・成人を生み出すような世相を作ってしまったようだ。もう一度我々自身も子供の教育の仕方を見直し、世界に誇れる真の自由を身に付けた日本人を育てたいものだ。

自由化

一方、自分たち業界の周辺を見回せば、違った意味での自由化が押し寄せてきた。それはアメリカが求めて

いた「空の自由化」が、日米間の航空協定成立を見て更に大きく前進し、結果として競争激化することは明白で、今までの業界の対応では取り扱い人数の増加に反比例して収益を圧迫することになるだろう。そのため我々業界は今後何を持って利益を確保するのかを考えた旅行業界ビッグバンが必要ではなかろうか。また消費者に対する情報などに対するサービス手数料徴収なども考えるべきで、業界が一丸となりサービスは有料であるとの世論醸成のためのPR活動を展開することも一方法と考える。

又戦後の航空産業はIATAなどを中心に発展してきたものが自由化の波で規則が次々と緩和され自由な経済活動が出来るようになったのは当然のことであるが、これについても業界や消費者に対する義務を考えた秩序ある自由化による空の安全を考えたものでなければならぬ。

語り合う楽しさ

私には友人のタイプが大別して3つある。一つは同窓生、次に会社の同僚、残る一つは業界の友人。これら友人と会話を交わすのは、老後の楽しみの一つでもある。特に業界の友人とは相手のかつてのタイトルを考えず、自由にしかも昔の業界内での苦労話、自慢話が話し合える場合が多く楽しみだ。これに対し会社同僚の場合はどこか頭の片隅に昔のタイトルが引っ掛かって多少話しにくい面もある。この意味から、シニア会の会合や旅行はその機会を与えてくれる場所として私にとっては参加することが大きな楽しみだ。

シニア会も来年は創設10年目の節目を迎えることとなり、現在幹事の方々が会員の皆さんが真に楽しめる行事を催行すべく検討を始められているが、この機会に皆さんもあなた自身が喜んで参加できるような意見、提案をされては如何ですか。そして会員諸氏全員が元気で参加され昔話に花を咲かせられることを心からお待ちし楽しみにしています。

私と剣道



青山 宏

このような体験談は皆様方にはご迷惑な話としか映らないかも知れませんが敢えて勇気を奮って申し上げます。

私の少年時代は今の子供には信じてもらえないきびしいものでした。兄弟げんかをしたといっちはビンタ、時間におくれて帰ったといっちはビンタ、何かにつけて長男という事で軍人であった厳しい親父殿は理由の如何を問わず教育はビンタでした。悔しいので一生懸命理由を述べても「男なら弁解をするな」の一言でした。子供なりにどうしたら正当な方法で親父殿の頭をなぐる事が出来るかと明けても暮れても考えました。中々いい案が浮かばなかった小学校三年生、当時、台北の武徳殿横を通った折に小さい子供が大人と剣道の稽古をしている姿を見て“これだ”と瞬間的に思いました。帰りまして父に剣道をさせて下さいとお願いしました。当時、父は剣道二段でしたのですぐに許してくれ翌日入門をして先生にお目にかかりました。そこで先生は優しいお顔でこう言われました。「途中止めないで続けることですよ。」私は止めるものか、目的達成する迄は誰が何と言おうとも止めませんと小さい胸に決意を固めた次第です。

小学三年生から六年生迄毎日切り返しばかりで道具をつけての稽古はさせてもらえませんでした。だんだん心細くなり何度となく、もう止めようかと思いました。暑さ寒さのきびしい折には尚更、でも其の度に苦しい所を通り抜けられたのは最初の固い決意をした親父殿の顔で

した。許されて道具をつけて中学一年で初段、中学三年で二段を取得することが出来、愈々目的達成の時至るで親父殿に試合を申し込みました。今でもはっきりと覚えています、時は夏休みの夕方、場所は中学の道場、無制限三本勝負、結果は歴然、何本面をとったかわかりませんが圧倒的若さの勝利でした。涙が止まりませんでした、勝つ事が出来たとの涙なのか、よくここ迄頑張ることが出来た喜びの涙なのか分かりませんでした。其の晩は感激で眠ることが出来ませんでした。



併し其の後、大変な結果になったのです。今でも血の気が引くような恐しい結果でした。翌日道場に行って得々として皆にその話をしました。私の師匠がそれをじっと聞いておられたのを私は気づきませんでした。話が終わっ

た途端、一寸部屋に来いと、……結果は明日から稽古に来ないでよろしい。こわい顔で申し渡されました。破門でした。何日も何度もお詫びをしても許して頂けませんでした。

厳しく懇々と諭されてお許しを頂いたのは1ヶ月も後でした。それから私の稽古の目的は変わりました。昭和16年、台湾の代表で11月3日明治神宮の全国大会に参加することが出来たのもそうした先生の教え、稽古の賜物でした。

私の剣道を始めた動機はまことに不純でした。今青少年の指導の折にその話を致しますが、大切な事は自分が体験をした、一端決意をしたら終始一貫することであり、又人各々違うから思いやる心、人の痛みのわかる人間、片時たりとも利己的な人間になるな。これが真の剣の道なりと教えております。師匠の受け売りではありますが、又厳しい父のおかげで剣道を始めたことも感謝しております。

これが62年間続けてきた私の剣道人生です。

事務局だより

事務局 辻 村 脩

*平成10年度シニア会会員名簿の事

昨年度会員名簿の配布を予定していましたが、6月に大幅な異動や社名の変更等あり、9月に完成を予定していましたが、今度は郵便番号が変わるとの事で、一年延期する事とし今年7月に完成する事になりました。ご多忙でしょうが同封別紙名簿作成資料の各項目全てをご記入の上、6月30日迄に藤岡副会長宛に返送方よろしく願います。

*平成9年度新規入会者のご紹介

- 吉 田 耕 司（元京阪交通社）
- 石 川 信 吾（東急観光サービス・西日本）
- 岡 本 和 郎（駿台ホテル観光事業専門学校）
- 大 島 修（株式会社 フジ企画）
- 久保田 勝（株式会社 K. T. S インターナショナル）